

鳥取大学と智頭町の連携協定締結について

1 智頭町と鳥取大学の連携の取り組み

1980年代後半から、当時鳥取大学工学部教授の岡田憲夫氏が、智頭町を研究のフィールドとし「日本1/0村おこし運動」など長年智頭町の地域活性化に携わってきた。現在の智頭町の町おこしの基礎となっており、智頭町と鳥取大学の連携の先進的な取り組みの基礎となっている。

2 鳥取大学地域貢献支援事業

- 平成 21 年 全国初の集落型 NPO 法人を活用しての智頭町新田集落の活性化事業
- 平成 23 年 智頭・地区振興協議会の活動を軸とした山村コミュニティの再生
休耕地および耕作放棄地を利用したカシス栽培と加工品の特産化
- 平成 24 年 源流域における生物多様性保全型農業の取り組み
- 平成 26 年 智頭町における地盤震動特性の把握
- 平成 27 年 <森林に依拠した>持続可能な多世代共創コミュニティの形成

3 鳥取大学大学開放推進事業

- 平成 26 年 鳥取大学発「出前おもしろ実験室」プロジェクト
～理科好きな子どもたちを育てるために～

4 地（知）の拠点整備事業（大学COC事業） 地域志向教育研究経費

- 平成 26 年 地域知と専門知の融合を目指す大学ニーズとしてのプロジェクト
型授業の地域への実践
- 平成 27 年 鳥取県におけるデータ解析による空き家を活用した地域振興に関する研究

5 鳥取大学振興協力会

- 平成 26 年 智頭町入会

6 智頭町委員会に鳥取大学教員が参画

- 平成 22 年 智頭町百人委員会アドバイザーに若良二氏（当時副学長）を委嘱
- 平成 24 年 智頭町百人委員会アドバイザーに地域学部家中准教授を委嘱
- 平成 27 年 智頭町文化的景観保存活用委員会委員に工学研究科矢島准教授、
浅井准教授、地域学部澤田特命准教授を委嘱

7 平成 27 年度のその他連携事業

- H27. 5～8 ものづくり実践プロジェクトの実施
5/3 ワークショップ、6/9 中間審査会、8/11 完成報告会
- H27. 11. 27 智頭町牛臥大学講演
「家族の病気と体質家系図を描いて健康管理」
鳥取大学医学部附属病院 次世代高度医療推進センター
遺伝子診療科 中川奈保子氏

8 職員派遣

- H27. 4～ 智頭町総務課職員 1 名を派遣研修職員として受け入れ